

うき消防の動き

1

2008(平成20)年

No.233

(署内報)

編集・発行 宇城広域消防本部総務課
〒869-0419 熊本県宇土市新松原町159-1
TEL 0964(22)0554 FAX 0964(22)0270
Mail honbu@ukisyobo.or.jp
URL http://www.ukisyobo.or.jp



広域連合長特別点検 (1月4日)

広域連合長訓示 宇城広域連合長 田口信夫

新年あけましておめでとうございます。
皆さんは年末年始にかけて、ゆつくりと休養を取られる時間もなかつたかと思えます。
日頃の皆さんの消防職員としての勤務に対し中心より感謝を申し上げますと共に、年の初めに皆様方に一言お礼とお願いを申しあげます。お陰様で宇城地域、極めて平穏な市民生活を送ることが出来ております。これも一重に皆様方の日頃の真摯なお取り組みによるものだと思っております。ありがとうございます。

おりませんけれども、
県央ブロックとして広域再編をされる動きがございます。
これらは大きな自然災害、火災もそうでありますけれども、これらの災害に迅速、かつ的確に対応できる、そういう消防組織を作る必要がある、そういうことから今これらの取り組みがなされようとしております。
しかしながら、いづれにいたしましても宇城地域を守ってくれていられる皆さんであり、昨年、南消防署、北消防署と、2署体制でいい消防体制で対応していくという組織が確立されたわけでありまして、これらは広域再編がなされようとも変わることはありませぬし、みなさんのこれからの取り組みによって、宇城地域の安全はもとより宇城地域の大きな発展が期待されるものだと確信をしております。
宇城広域消防の更なる発展と署員の皆様方のご健勝を、年頭にありたい心から願います。年頭の激励のあいさつといたします。

年頭の挨拶

消防長 中島幸義



平成20年の輝かしい新春を迎え、職員並びに家族の皆様にご挨拶を申し上げます。職員の皆様には、地域住民の安全・安心を守る為、日夜災害活動や火災予防等の推進にご尽力頂き、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は国内外で大地震（能登半島・新潟県中越沖・ペルー等）や台風、林野火災、それに大水害等が発生しまし

た。特に7月には管内の美里町が豪雨により河川が氾濫し、土砂崩れ等で住民の方が孤立され、甚大な被害をもたらしました。このような自然災害は、地球温暖化の影響などさまざまな要因で、今後とも多発することが懸念される

ところであります。また、昨年は当消防本部や管内の一部事務組合が合併し、4月から宇城広域連合が

発足し、11月には待望の南消防署が完成・稼動し、管内南部の防災拠点として機能充実が図られました。

しかしながら災害は、毎年複雑多様化し大規模化しており、今後更に消防団との緊密な連携・協力を図って災害を最小限に止めなければならぬと思います。

火災予防対策では老人福祉施設など火災予防を推進すると共に、住宅等には住宅用火災警報器設置を推進し、火災による死傷者の軽減に努めたいと思えます。

救急・救助については、救急救助業務の高度化を図り、救命率の向上に努め、住民の皆様の期待に応えようよう努めたいと思えます。

今年も地域住民の安全・安心の確保の為、消防職員一丸となり、英知を結集し消防行政を推進していきたいと思えますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

終わりに本年が、災害のない平穏な年でありますと共に、職員とご家族皆様のご多幸とで健勝を心から祈念申し上げ新年の挨拶とします。

★新コーナー



明けましておめでとうございます。宇城広域消防本部消防長始め、消防署員の皆様方には、日頃より消防団活動に際しましてご協力を賜り感謝申し上げますとともに、御活躍に対して心から敬意を表します。

さて、自治体消防が発足して以来、今年で60周年を迎えます。この間、消防署員の皆様のご協力によりまして、現

年頭のごあいさつ



熊本県消防協会常務理事
城南町消防団 団長 前田 勝

在宇城管内2市3町におきまして、団員総数3931名（うち女性消防隊員140名）が、住民の方々の生命・身体・財

甚大な被害がありました。消防団員は、各市、町団長の指揮命令のもと、消防署・自衛隊等と連携し、昼夜を問わ

産を守るべく活動をしているところでございます。

また、昨年7月に宇城地区を集中豪雨が襲った際には、美里町をはじめ宇城管内では

ず活動を続け、幸いにも人的被害を出すことはありませんでした。しかしながら、昨今の異常気象の中、災害の態様も複雑多様化、大規模化の傾

向を強めており、各地で住民の安全を脅かす災害、事故が発生しております。また、行方不明者の捜索に協力するなど、様々な活動が求められております。こうした中、平成19年11月には、宇城広域連合南消防署が落成を迎え、常備消防、非常備消防一体となり、十分な連携を図りながら、安全で安心な街づくりを目指して行きたいと思っております。皆様方の本年益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

平成19年火災統計

警防課は平成19年中の災害統計をまとめた。それによると火災は54件（前年比+6件）で、その内訳は建物火災38件、車両火災7件、その他火災9件であった。住宅火災は29件で建物火災の79%、全体でも54%と高く住宅用火災警報器の設置促進など住宅防火対策の更なる推進が求められる。

出火原因は、1位が「こんろ」（6件）、2位が「電気機器等」（5件）、「灯火・ろうそく」（5件）、次いで「たき火」（4件）、「たばこ」（3件）、「放火」（2件）等の順位であった。

救急は6,333件（前年比+211件）で相変わらず毎年200件以上増加傾向にある。出場内容で最も多いのは「急病」の3,357件（前年比+147件）で全体の半数以上の53%を占めている。

次いで「転院搬送」の1,277件（20%）で、救急出場の5件に1件は病院から病院への患者搬送となっている。その他の内訳は、「一般負傷」754件（12%）、「交通事故」731件（12%）、「自損行為」66件、「運動競技」62件、「労働災害」31件、「加害」19件などとなっている。

救助出場は97件（前年比+3件）で、交通事故が48件と出場の半数を占めている。また、災害として取り上げない警戒出場は224件であった。

天まで届け！

防火の輪！！

宇城幼年消防クラブの防火パレードは、毎年12月頃に各園で実施されていますが、今回は小木保育園、第一幼稚園、宇土幼稚園の防火パレードの様子をご紹介します。

3園とも、12月初旬に拍子木を打ちながら、「火の用心！マッチ一本火事のもと!!」という元気な掛け声とともに園の周辺を約1時間、住民の皆さんへ火災予防の呼びかけを行いました。

このうち、宇土幼稚園では折り返しとなる宇土市役所で防火の誓いを行い、田口信夫宇土市長から激励とお礼の言葉を受けました。



小木保育園（城南町）



宇土市立宇土幼稚園



第一幼稚園（富合町）

2008年は、園児の皆さんの掛け声が天まで届いて、火災が起きない年にしたいですね！

A:アンパイアも E:いざというとき D:大丈夫!! 熊本県ソフトボール協会AED講習会

12月9日、消防本部研修室で開催された。これは日本ソフトボール協会の準指導員講習の一環として実施されているもので、今回が2回目。

講習に参加された永野哲男さん（八代市ソフトボール協会副理事長）は、「救急法講習は数回受講しています。AEDは最近設置されているのを見かけますが、取扱いは今回が初めて。今回の講習だけでなく、反復訓練が大事。」と話された。

宇城管内では去る9月にソフトボール試合中の審判がC P A（心肺停止状態）になり、駆けつけた救急隊のAEDを使用したC P R（心肺蘇生法）により、4回目の電気ショックで呼吸が回復した事例が発生したばかり。

この日はソフトボール協会の審判、チーム監督など24名が職員の指導の下、熱心に受講されていた。



「南消防署1期生、右向け〜右!!」 松橋中学校職場体験学習

去る12月18日、19日の両日、松橋中学校の2年生10人が開署間もない南消防署において職場体験学習を行った。

入署式では声も小さく借りてきた猫のようにおとなしかった生徒諸君も、体力錬成、規律訓練と、慣れないながらも次第に大きな声が出るようになり、15メートルの訓練塔屋上からは「右向け〜右!!」、「ありがとうございまして!」と振り絞った大声が飛んだ。

また、訓練塔を使用した救

助訓練では、煙で目の前が見えないという設定の中、空気呼吸器を背負い2階へ屋内進入。マスクの中に布を入れ、「見えない状況」を体感した。

その他に3連はしごを登ったり、ロープで降下したりと、これまでの中分署における体験学習に比べ、南消防署の訓練施設等を十分活用した体験訓練となり、これまでに充実した体験学習であった。今回研修に訪れた10人の将来の夢は、8名が「消防士」で、

「パイロット」、「救急救命士」が各1名だったが、南消防署体験学習1期生から、未来を担う消防士が生まれることを大いに期待したい。



防災消防航空隊便り

園田 寛 (平成19年度〜21年度派遣)



私が熊本県防災消防航空隊員に配属されて9ヶ月が過ぎました。航空

隊ならではの活動などを紹介してみようと思います。まずは緊急運航要請に関する注意事項をひとつ挙げてみます。消防からの情報連絡若しくは要請時、航空隊から救急か救助かを問い返して頂くことがあります。これは、消防で言う救急か救助かという意味とは若干違って、救急とは、着陸し患者を直接引き継ぐ場合をいい、例えば車両事故から救出しても、近くの着陸場で引き継ぐ場合は航空隊としては救急出場となります。

この場合の装備としては、ストレッチャーを積載し、隊員は感染防護衣を着装します。普段合同訓練などで行うヘリコプター降下や、ホイスト救助はできません。これに対して救助は、機内スペースを確保するためにストレッチャーは積載せずに、ザイルや折りたたみバックボードなどの救助資機材を積載することになります。救急隊が緊急性のある患者搬送を要請し、着陸場が近くにないためホイストによる患者収容を考慮するのであれば、航空隊としては救助出場となるわけです。つまり、航空隊としての活動が救急となるか救助となるかを問い返しているのです。そこで要請時の情報として、どのように患者を引き継ぐのかという内容が重要となってきます。



1月の予定				
日	曜	行事	場所	時間
4	金	仕事始式・辞令交付式	消防本部会議室	08:30 ~
4	金	連合長特別点検	消防本部	10:00 ~
10	木	うき防災フェア'08in宇土打合会議	消防本部	14:00 ~
15	火	宇城広域連合運営会議	宇城広域連合	10:00 ~
16	水	20年度採用予定者召集	消防本部	10:00 ~
19	土	うき防災フェア'08in宇土	宇土市民体育館	10:00 ~ 13:00
21	月	所属長会議	消防本部会議室	08:30 ~
27	日	人権フェスタinうきし	川崎文化センターラポート	13:00 ~ 16:00

2月の予定				
1	金	熊本県危険物安全協会担当者会議	未定	未定
12	火	春季火災予防運動打合会議	消防本部会議室	14:00 ~
13	水	九州ブロック消防違反是正推進会議	大分県庁	13:30 ~ 16:30
17	日	宇城市出初式	宇城市役所前	09:00 ~
19	火	宇城広域連合運営会議	広域連合事務局	10:00 ~
20	水	済生会メディコン会	済生会熊本病院	17:30 ~
21	木	所属長会議	消防本部会議室	09:00 ~
22	金	市町村防災担当者説明会	上益城地域振興局	09:00 ~ 12:00
24	日	宇土市出初式	宇土市防災センター	08:30 ~
29	金	防火管理者再講習会	南消防署研修室	13:00 ~
29	金	熊本県消防長会予防研修会	熊本市消防局防災センター	13:00 ~ 16:00

災害統計			
	火災	救急	救助
H19.12.31 現在	54	6,333	97
昨年 同期	48	6,123	94
増減数	+6	+210	+3

思いあい

結婚差別に思う
「親として不幸の中に飛び込んでいく子どもを放っておくことはできない...」
世間体という実体のないものを隠れみのにして、人間を差別している現実が未だに存在します。私たちは世間体というものにこだわり、知らず知らずのうちにお互いを傷つけてしまつ、そんな弱さを持っていると思います。差別することは自分自身を苦しめ、さらに周りの人をも不幸にする結果につながりますし、得るものは何もありません。世間体よりも、ほんの少しの幸は何かを冷静に考えることが大切だと思います。

百時是消防

私の職場の机には、ある方が7年ほど前の新聞に投稿された一枚の切抜きが挟んであります。その方はすでに退職されている年齢ですが、現役公務員だった頃に二度、福島県二本松市の二本松城址に置かれていた「戒石銘」を尋ねられた時のことが書かれています。
「戒石銘」のルーツは中国ということですが、時の二本松藩五代藩主丹羽高寛公が、藩士の戒めとするため、寛延2年(1749年)、藩庁前の大石に次の言葉が刻まれました。
「爾俾爾祿 民膏民脂
下民易虐 上天難欺」

「お前(武士)の俸給は、人民があらゆるして働いたたまものより得ているのである。お前は人民に感謝し、いたわらねばならない。この気持ちを忘れて弱い人民達を虐げたりすると、きっと天罰があるぞ。」という意味です。
消防に奉職し早や30年、時折愚痴を言いたくなる自分を戒めるため、そして、消防職員として採用された時の喜びと夢を忘れないよう、毎朝机に向かって約1分、小さな切抜きを見つめています。
「初心忘れず、自戒忘れず」、来月東京に行く用があるので、時間があれば尋ねてみたいと思っています。K・I